

特別講義Ⅰ

科目到達目標:免疫学研究の最新の発展について、専門家に内容を聞き理解する。

科目責任者(所属):吉野 三也(免疫学)

連絡先:e-mail: myoshi@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/31(木)	4	421	抗原提示によるT細胞の活性化	吉野 三也	免疫学	抗原提示によるT細胞活性化機構を理解する	抗原提示細胞、遊走因子(ケモカインなど)
2	11/21(木)	4	421	自然免疫機構の全体像を知る	林 真一	免疫学	自然免疫に関わるさまざまな細胞について理解する	
3	12/19(木)	5	421	MHCと自己免疫疾患(大阪大学免疫学フロンティア研究センター教授)	荒瀬 尚	非常勤講師	自己免疫疾患の発症とMHCの関わりを理解する	MHC、自己免疫疾患
4	未定					非常勤講師		

教育グランドデザインとの関連:2、3、4

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連:1、3

授業のレベル:2~3相当

評価:受講態度30%、レポート70%

実務経験との関連:実務経験のある医師、歯科医師がその経験を活かして指導する。

特別講義Ⅱ

科目到達目標:生命科学の先端学術研究に触れ、その研究分野の歴史、現状を知り、展望を考える。

科目責任者(所属):井上 敏昭(ゲノム医工学)

連絡先:担当教員への連絡方法 最初の講義のときにお伝えします。あるいは教務係にお尋ね下さい。

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	11/18(月)	4	421	サイトメガロウイルスの予防法、診断・早期治療法の開発(日程、講義室も含め詳細は決まり次第周知する)。	生田 和史	非常勤講師	発表内容をその場で理解しつつ疑問点を見いだせる力を養う	サイトメガロウイルス、早期治療法
2	未定			放射線生物学の基本、さらに遺伝学、分子疫学からの遺伝的影響調査(同上)	多賀 正尊	非常勤講師	発表内容をその場で理解しつつ疑問点を見いだせる力を養う	放射線生物学、分子疫学
3	12/9(月)	4	421	医薬品、医療機器、医療システムの開発と生命科学研究(同上)	古賀 敦朗	非常勤講師	発表内容をその場で理解しつつ疑問点を見いだせる力を養う	医療機器開発人材養成
4	未定			新たな再生医療技術-CiN細胞(chemical compound-induced neuronal cells)(同上)	戴 平	非常勤講師	発表内容をその場で理解しつつ疑問点を見いだせる力を養う	細胞再生医学、低分子化合物

教育グランドデザインとの関連:1、2、3、4、5、6、7

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連:1、2、3、4

授業のレベル:2

評価:レポート85%、受講態度15%

実務経験との関連:学生は、講師の研究経験及び実務の経験(ともに本学科の経験を含む)を共有し参考とする。